

決算特別委員会



県民の健康寿命延伸について

福岡県民の健康寿命と平均寿命の差は、男性9.23年、女性12.66年。健康長寿の延伸のために、国が、「**自然に健康になれる食環境づくり**」を検討始めた。その取組とはどのようなものか。

- ①健康に無関心な層も含めて取組む。そのため「**自然に健康になれる食環境づくり**」を学識経験者、食品製造業者、小売業者、消費者団体で検討会が設置された。課題として「**減塩**」が優先事項に選ばれ、当面「内職」と持ち帰り弁当・総菜などの「中食」を対象食品として「減塩」を検討する。
- ②福岡県としても「減塩対策」について環境を変えていくことが重要と考え着実に進めて参る。
- 昨年の提案があった**国保のKDBシステムの活用**は、県単位、市町村単位、二次医療圏単位で疾病別の医療費の伸び率、要介護度と疾病の相関を分析し、市町村に保険事業の提案を行います。

太陽光パネルリサイクルについて

福岡県の太陽光パネルは、2036年には廃パネルが年間1万トン(PayPayドーム25個)を超えると推計。その対策は?

- 本県は九州の中で最も太陽光パネルの導入が進んでいる。今回、「**廃棄太陽光パネルスマート回収システム**」を開発した。まず県内に普及させ、九州一円にリサイクルの輪を広げて参る。



賃貸住宅に燃料電池を活用

水素エネルギーを家庭用に活用するた小笠団地で燃料電池を使ったプロジェクトを実施しているその成果は?

- 96戸で実証し、**年間1世帯当たり600kgのCO2削減**効果が認められた。戸建てより効果があった。今後、民間賃貸住宅への普及・促進に務めて参る。

療育手帳の交付基準

療育手帳の交付基準は全国都道府県で違うため転居先でサービスが受けられなくなるという不利益が起きている。療育手帳発行の全国で基準統一が必要。知事の答弁を聞く。

●知事答弁

全国知事会の国への要望の一つとして、判定基準の統一化を取り上げてもらうよう、全国知事会に要請して参る。

県立高校の通学区

福岡市立原中央中学の生徒が、友人と福岡中央高校を受験しようとしたが、大原小学校区に住む生徒は受験できないという制度に大きなショックを受けた。実態が教育長に届いていない。現実をどのように考え対応するのか教育長に聞く。

●教育長答弁

「発生・認識主義」に立って問題点を洗い出し、課題を各方面で共有し研究して参る。

新開昌彦プロフィール

昭和32年6月生 西新小、百道中、大濠高校23回、創価大学7期卒業
津田産業(株)入社、神崎武法衆院議員秘書15年、平成11年から県議
6期当選



<https://www.facebook.com/shinkai.masahiko>

フェイスブックは
こちらです。➡

